

松本市地域づくり推進交付金実績報告書

令和8年3月31日

（あて先）松本市長

（申請者） 島立地区町会連合会

1 交付決定額

I 金600,000円

2 本年度実績の報告

① 本年度の交付金事業の報告

① 事業名： 島立地区高齢者支え合い事業	
実 施 主 体	島立地区町会連合会
実施日（期間）	通年
実 施 場 所	地区内
事 業 概 要	島立地域包括ケアシステムの構築の一つとして、地域ケア会議を開催しながら、住み慣れた地域や家で暮らし続けることができるよう高齢者の生活支援を行った。 1 高齢者買い物送迎車運行事業 タクシーによるオンデマンド交通 (1) 対象者 65歳以上（一人または夫婦二人暮らしで、自ら自家用車を運転できない者） (2) 運行期間 R7年4月～R8年3月（毎週木曜日） (3) 運行経路 自宅 ⇄ 大型スーパー ツルヤなぎさ店（西友島内店）、西友笹部店 (4) 利用料金 500円／一人（往復） (5) 運行業者 相互第一交通株式会社 (6) 運行状況 延べ58回、158人 2 福祉と健康を語る集いの開催 (1) 日 時 R8年2月20日 午後1時30分～午後3時30分 (2) 会 場 島立公民館 (3) 講 師 松本大学准教授 大蔵 真由美 氏 (4) 内 容 島立地区住民意向アンケート調査結果とその分析 (5) 参加者 51人
地域づくりの 成 果 ・ 効 果	1 島立買い物乗合タクシーは、買い物弱者を支える手段として有効で利用者も拡大してきており、今後も地域の足として期待されるものです。 2 福祉と健康を語る集いでは、令和6年度に実施した住民意向アンケートの集計結果の報告と分析について、松本大学准教授の大蔵真由美先生による講演とワークショップを行い、地域住民が今後の島立地区について考える機会となった。

課 題	島立買い物乗合タクシーについては、ネット販売、移動販売車の参入もありますが、スーパーに出向き、多くの品物を見て買い物をすることができるメリット等を周知しながら、利用者の拡大を図りたい。			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	514,310円	289,820円	0円	0円

a : 本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b : 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c : この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名： 島立地区自然体験学習事業				
実 施 主 体	島立っ子 森・杜探検隊 自然体験学習チーム			
実施日（期間）	通年			
実 施 場 所	市内一円			
事 業 概 要	地域の自然や歴史、伝統文化に触れる体験活動を通して、子どもたちが地域への理解を深め、自ら考え行動する力を育むことを目的として活動を行っています。令和7年度は、地域の歴史文化体験、自然体験、防災体験などを中心に活動を実施しました。 ・ 豊科郷土博物館・飯沼飛行士記念館・かじかの里 昔の暮らしや伝統行事の学習、昔遊び体験 ・ 島立福祉ひろば 番外編：ちびっ子家庭向け防災 ・ かまばの森 防災にも役立つミニ・サバイバル体験 ・ 島立文化祭 活動報告展示 ・ 島立地区 三九郎体験・昔の遊び			
地域づくりの成果・効果	日常では生き物と触れ合いなど、自然を学ぶ体験を取り入れることができた。子供たちは貴重な体験を通して歴史や文化、遊び方などを学ぶことができた。また、子供たち同士一緒に参加した保護者同士の学年を超えたコミュニケーションづくりのきっかけにもなった。			
課 題	運営体制の構成において、有志の保護者が核となって進めているため、活動の継続性に引き続き課題がある。保護者、学校や地区団体に対し、より一層この活動に対する理解と連携を図り、支援者のさらなる拡充が課題である。			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	108,318円	80,000円	0円	28,318円

③ 事業名： 島立地域教育事業				
実 施 主 体	寺子屋 大庭未来図			
実施日（期間）	通年			
実 施 場 所	地区内			
事 業 概 要	1 親子農園（通年） 土起こしから収穫まで農作の過程を学ぶとともに、生きる力を養う。			

地域づくりの 成果・効果	何でもすでに出来上がったものを手に入れる生活の中で自分でものを作り出す機会が少ない現代。そこで作り出すことで知る様々な思考展開力と意識を育てることができた。自他の危険回避、状況環境への注意力、結果イメージへの警戒心、観察力、変化への気づき、五感を磨く、体力と動作等々。格差社会、その格差による差別化。なかでも体験格差は、経験値の豊かさと実務としての技術力の高さが問われ、参加している子供たちの将来に大きな要因となってくるものである。			
課 題	・夏休みサマースクールから、保護者も子供も教育を受けるのは学校だけでよいという意識で、10年前に比べると子供の学ぶ意識も様変わりしてきている。学校外の活動を通じて、子供と保護者の学ぶ姿勢の意識啓発を図りたい。 ・単なる農業体験だけではなく、引きこもり、不登校の児童が親子農園での野菜作りなどを通して、達成感と自信を持ち、生きる力を育めるような活動に繋げていく必要を感じる。 ・地域社会の中で芸術、文化、音楽、スポーツ等々で児童が活動、活躍できる様々な活動場面を提供できる「地域教育という新しい教育プロセス」という考えを広げ、支援者の拡充も図りたい。			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	180,000円	180,000円	0円	0円

決 算 額 (計) (①+②+③)	A + B + C	財 源 内 訳		
		A	B	C
	549,820円	549,820円	0円	0円

A : 各事業のaの合計額
B : 各事業のbの合計額
C : 各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

該当なし。

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I - A - D	金	50,180円
-----------	---	---------

[参考]繰越上限額 = $I \times 2 / 10$